

湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活(れいわしょうかつ)』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和元年6月18日

先週の14日(金)、開校を記念して「湯梨浜でクラシックを聴く会」が行われました。バイオリンとチェロのデュオコンサートで大変すばらしいコンサートでした。蒸し暑い午後の体育館の中での演奏会でしたが、プロの熱演に因て全校生徒はとて反響やきまりもよく鑑賞することができて、演奏者の方々を始め関係者の方々が口をそろえてその態度の良さを褒めてくださいました。ここでも湯梨浜中のいいスタートがきれたようです。本当にありがたく、嬉しいことです。

【生徒会の執行部企画 「Time is Money」】

新執行部による初めての企画が来週の火曜日から始まります。生徒自ら学校をリードしていく活動にとて期待しています。その内容は ①図書委員会「8:20 には朝読書開始」 ②学習委員会「2分前着席」 ③給食委員会「放送委員会の放送までに『いただきます』」 ④学級委員会「それぞれの取り組みの集計・報告」 ⑤広報委員会「期間中のキャンペーンの宣伝・結果の報告」です。生徒自らの手で学校づくりを着実に進めながら、さまざまな力を身につけていってほしいと思います。

【働く喜びとその大切さ】2年生職場体験学習

本日から4日間、2年生が町内の事業所へ職場体験学習に出かけています。「将来はどんな仕事に就こうか?」と、進路に対する意識を高める上でとても重要な4日間だと考えています。受け入れを担当してくださる方だけではなく、一人でも多くの方から「働く喜びとその大切さ」を学んできてほしいと願っています。また、あいさつ・返事・時間を守ることなどの社会生活で大切なことがきちんとできるかどうか、学校を離れた時に試されます。一人で活動する時にこそ自分の「真の力」が見えてきます。地域の事業所の皆様、保護者の方々には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【メディアを遮断! ノーメディアウィーク】

湯梨浜中学校PTA企画部
2019年度 第1回 ノーメディアウィーク 6月16日(日)～22日(土)

年 組 番 名 前

テレビやゲーム、インターネットなど様々な娯楽メディアと距離を置き、家族の団らんを楽しむ、読書をする、学習に取り組むなど、家族での過ごし方について考えてみる1週間です。

共通目標	午後9時以降はメディアを使用しない。(メディア21:00運動)
1 自分の選択目標を選んで番号を書こう。	
選択目標	1 テレビ・ビデオ・ゲーム・インターネットなどを、全く使用しない。 2 テレビ・ビデオ・ゲーム・インターネットは、1日30分以内にする。 3 テレビ・ビデオ・ゲーム・インターネットは、1日60分以内にする。
2 ノーメディアウィーク中にできたことを選んで番号を書こう。(複数回答可)	
ノーメディアウィーク中にできた取り組み	1 読書 2 食事 3 家族と会話 4 読書 5 早寝 6 その他()
3 共通目標、選択目標に取り組みした日に○をつけよう。できた取り組みについて、上の2の中から選んで番号を書こう。	
共通目標	16日(日) 17日(月) 18日(火) 19日(水) 20日(木) 21日(金) 22日(土)
選択目標	
できた取り組み	
感想	
保護者の感想	

※ノーメディアウィーク終了後、感想を書き、6月28日(金)までに学級団体に提出してください。

6月16日～22日までの取り組みとして、『テレビやゲーム、インターネットなどさまざまな電気系メディアと距離を置き、家族の団らんを楽しむ、読書をする、学習に取り組む等、家族での過ごし方について考えてみる一週間にしよう!』という運動が展開されています。

近年の鳥取県教育委員会の調査によると、生徒たちが「インターネットに接続できるものを持っている」と答えた割合は平均80%くらいで、全体ではゲーム機の所有が一番多く、続いてタブレット、パソコン、スマホ、ipadといった順のよう

です。また、「家庭でルールを決めているか」という項目に対して、「ある」と答えた保護者が9割程度なのに対して、生徒は6割程度でした。「ルールをつくったつもり・話をしただけ」という家庭が多いようです。つまり、インターネットができる環境にありながら、まだまだ無防備な状態であるところか状況が悪化しているようです。現実に本校でも「昼夜逆転の生活・家庭学習の不足・正体不明の外部の人とのつながり」等で家族や生徒自身が大変苦しんでいる現状もあり、トラブルや事件に遭う前に、先手先手で取り組む必要があります。

最近でも、「ネットに書いた悪口が仲間外し等のトラブルを生み、いじめに発展した」という例や、「昨日までの親友が翌日から突然に無視」してきたり、「見られたくない大切な内容をブログ等に投稿」されたりすることもあるかもしれません。親が気づいた時には相当深刻な状態ということが多く、昔よく言われた「うちの子に限って・・・」という言葉は、今のこの時代には通用しません。被害者になるだけでなく、「知らないうちに加害者になっていた」ということもあります。ほとんどの物は保護者が買い与えたものだと思いますが、本人が購入した物であっても持たせた以上は、やはり保護者が責任を持って管理するべき大切なことだと思います。

こういう機会をとおして、メディアとのつきあい方を家族みんなで考えて実行していくことが大切です。強調週間は終わっても、「本人任せで終わらせず」ぜひ携帯電話やスマホ、インターネット関連の正しい使用についての取り組みを継続させていきましょう。